

ドラッグコート：青少年よりも成人の薬物の使用と再犯の減少に効果的である



ドラッグコートは、
成人の再犯と飲酒運転を減らすのに効果的である。

このレビューの目的は何か？

このキャンベルの系統的レビューは、犯罪または薬物使用行動(再犯撲滅)の削減におけるドラッグコートの有効性を評価する。このレビューは、成人ドラッグコート、DWIドラッグコート、少年ドラッグコートからのエビデンスを報告する154の研究から得られた知見をまとめたものである。研究のうち8件を除くすべてが米国内のドラッグコートである。

ドラッグコートは、薬物関連の犯罪者の断薬を頻繁な薬物検査と薬物治療プログラムの遵守を通じて監視している。これらの裁判所は、未成年者には効果的ではないが、成人の将来の犯罪や薬物使用(再犯)を減らすのには効果的である。

このレビューは何を調査したのか？

ドラッグコートは伝統的な司法制度の代替手段である。薬物関連の犯罪者は、治療プログラムを完遂すれば彼らに対する刑が減刑されるという同意のもとにドラッグコートに参加することを提案される。プログラムへの参加者の遵守事項は、裁判所によって監視される。プログラム要件の遵守を強要するために、様々な報酬(例えば、賞賛、達成の記念品、プログラムの次の段階への移動)および制裁(例えば、治療回数の増加または尿検査、短期刑務所収容)が用いられる。このレビューでは、再犯を減らすという点で、非行少年と飲酒運転(DWI)の犯罪者のためのドラッグコートを含むドラッグコートの有効性を普通の司法制度と比較して検証する。このレビューは、これらの裁判所の短期および長期の再犯に対する影響を批判的に評価している。また、裁判所の特徴と有効性との関係だけでなく、既存のエビデンスの方法論的健全性も評価する。

どのような調査が含まれているか？

対象となる調査は、実験的および擬似実験的な比較グループデザインを用いたドラッグコートの評価である。調査は、犯罪者や薬物使用者の行動(再犯罪)を調べた結果を用いていなければならない。レビューには合計154件の調査が含まれており、そのうちの92件は成人ドラッグコート、34件は少年ドラッグコート、28件は飲酒運転者を対象とした裁判所である。



Shane T. McCoy / US Marshals
Operation Triple Beam 2.0

このレビューはどのくらい最新のものか？

レビュー著者は、2011年8月までに発表された研究を検索した。このキャンベルシステマティックレビューは2012年2月に出版された。

キャンベル計画とは何か？

キャンベル共同計画は、系統的レビューを出版する国際的かつ自発的な非営利研究ネットワークである。我々は、社会科学と行動科学において、プログラムについてのエビデンスの質を評価しまとめている。我々の目的は、人々のより良い選択と、より良い政策決定を支援することである。

この要約について

この要約は、キャンベル・システマティック・レビューの Campbell Systematic Review 2012:4 “Drug Courts’ Effects on Criminal Offending for Juveniles and Adults” 著者 Ojmarh Mitchell, David B. Wilson, Amy Eggers, and Doris L. MacKenzie (DOI: 10.4073/csr.2012.4) を基にした。Tanya Kristiansen は要約をデザインして編集した。この要約の作成のための American Institutes for Research (AIR) からの支援に感謝の意を表明します。



AMERICAN INSTITUTES FOR RESEARCH®

このレビューの主たる結果は何か？

成人ドラッグコートとDWI裁判所の両方から、大きく有意な平均効果があった。全般的に、再犯率はプログラム参加者の3分の1強(38%)に過ぎず、比較対象の非参加者の半分(50%)に比べて大きかった。この効果は少なくとも3年間続く。

少年ドラッグコートは再犯を減らす効果があまりない

少年ドラッグコートの効果はこれに比べて小さい。プログラムへの参加は、再犯率を50%から44%に減らした。ドラッグコートの参加による影響は非常に変動する。高リスクの犯罪者の数が少ないプログラムは、再犯率を低減する上でより効果的である。この知見は、少年ドラッグコートでは高リスク犯罪者がより大きな割合を占めるため、少年ドラッグコートの効果が低い理由を説明するのに役立つ。プログラムの強度の変化は、有効性に関連していない。標準的な段階数または薬物検査回数よりも多くを必要とする裁判所の効果は、他の裁判所と同程度であった。

3つの実験的評価から得られた質の高いエビデンスによって、成人裁判所の再犯に対する影響は確認されているが、効果の経時的耐久性には多少の矛盾がある。DWIのドラッグコートについては、4つの実験評価のうち3つが成人ドラッグコートと類似した結果をもたらしたが、質が高い1つの研究ではマイナスの影響が認められた。

このレビューの知見は何を意味するのか？

ドラッグコートは、成人に対する再犯と飲酒運転を減らすのに効果的であるようだ。少年については効果が小さいが、リスクの高い犯罪者の割合が高いことがその原因かもしれない。しかし、DWI裁判所の効果を確認し、どんな種類のドラッグコートがどのような文脈で効果があるのかを特定するために効果の変化量を検証するためには、さらなる実験的調査が有用であろう。